

みまきっこまんなか 応援まちづくり事業

計画期間：令和6年—令和9年

取組概要

みまきっこ応援のまちとなる拠点を整備し、
子どもを通じ、**みんなが楽しくいきいきとしたまち**を目指す。

みまきっこまんなか応援村



みまきっこ自治会

みまきっこまんなか寺子屋塾

プレイバス

みんな食堂

子どもを取り巻く環境

強み

- ・子育て支援活動を行う人材がいる
- ・地域活動を大学生と連携して行っている
- ・子育て支援制度が充実している
- ・コンパクトなまちづくりを推進している
- ・京都府が子どもの拠点整備に補助金を支給している
- ・「御牧おやじの会」等子どもとの交流の場をつくる活動がある
- ・田畑や旧山田家住宅等、地域への愛着を育てることができる資源が豊富にある

弱み

- ・子どもにとって必要な機能などを意見を聞く場がない
- ・校区内の徒歩圏内に子育て支援施設や多世代交流が行えるような場がない
- ・子どもたちに地域の資源を活用してもらえていない
- ・子どもや子育て世帯数が減少している
- ・市街化調整区域であるため、新たな施設整備や新たな世帯流入が見込みづらい

社会的に言われていること

- ・子どもの意見を取り入れる仕組みづくりが求められている
- ・少子化の進行により、子どもの数の増加が見込みづらい
- ・貧困家庭や孤食の子どもが顕在化し、安全かつ充実した暮らし・食生活が損なわれる場合がある
- ・多世代交流や地域住民のつながりが希薄化している
- ・一人で過ごす子どもやインターネットを利用する子どもが増えている

子どもを取り巻く環境

<御牧校区の強み・弱みや社会の流れから必要と考えられる取組>

【強みを伸ばすには…】

- ・ 地域の人材（プレイヤー）と連携し、良好な子育て環境をつくる

【弱みを解決するには…】

- ・ 子どもが主役のまちづくりをするために拠点整備が必要である

【社会の流れから…】

- ・ 子どもの数が更に減少しないよう、次世代の定住人口を確保できるよう、子どもの意見等が反映できる仕組みをつくる
- ・ 子どもの数が減っても、良好で安全な環境をつくる・守る必要がある

子どもを取り巻く環境

子どもが「家以外での居場所」に求めること

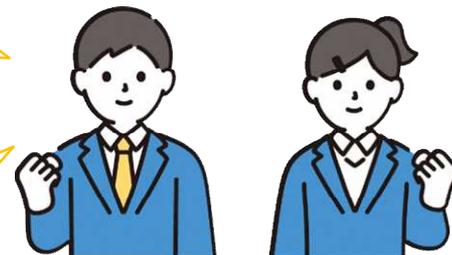


「いつでも行ける」「好きなことをして自由に過ごせる」

「いろんな人に出会える、友達といっしょに過ごせる」

「自分の意見や希望を受け入れてもらえる」

「新しいことを学べたりやりたいことにチャレンジできる」



※久御山町子どもの生活実態調査結果（久御山町の小学校4年性から中学校3年生までの児童・生徒【n=574】）より

気軽に気楽に行くことのできる拠点を整備し、
拠点での取組を通して、**子どもの主体性**を尊重し、
住民と連携しながら様々なことができる環境を整える。

子どもを中心とした拠点で大切な視点

子どものための拠点で大切にするとよいこと

ワールドカフェでの意見結果より

安心、安全で気軽に行くことができる居場所

子ども主導の活動が展開できる場所

地域のつながりを増やすことができる場所



拠点でやりたい取組

ワークショップでの意見結果より

地域の資源を活かしながら、

大人も子どもも楽しめる取組の実施



地域で子どもを見守り・育てるために

みまきっこまんなか応援村



拠点で取り組みたいこと

みまきっこ
自治会
(仮称)

子どもの意見や考えを地域に反映できる仕組み
子どもが地域の取組みを主体的に実施し、地域に関わることを可能にする

みまきっこ
まんなか
寺子屋塾

みまきっこ自治会により運営
遊びや学びの取組みを実施する中で、親子同士や多世代交流を可能にする

プレイバス

地域の資源となっている様々な施設や空間をみんなの遊び場にする
地域の資源を子どもたちに身近に感じてもらう
校区内のあらゆる場所で子どもと住民の接点がつくれるようにする

みんな食堂

子どもから大人、高齢者まで、あらゆる住民が食事を楽しめる場所
久御山産の食材を使用し、地域の資源を子どもたちにも身近に感じてもらう



子どもを通じ、**みんなが楽しくいきいきとしたまち**を目指す

地域で子どもを見守り・育てるために

拠点整備までの道のり

計画策定後
実施

Step1

地域の資源（魅力）に気付く

Step2

地域の資源をつかう

Step3

地域のつながりをつくる

Step4

地域が良くなる

地域の資源（魅力）に気付く

子どもにとって馴染みのなかった**自然的・人的・文化的な地域資源**を
子どもにとって**親しみやすいもの**にする

地域資源を知る

地域の大人が子どもに
地域資源を紹介

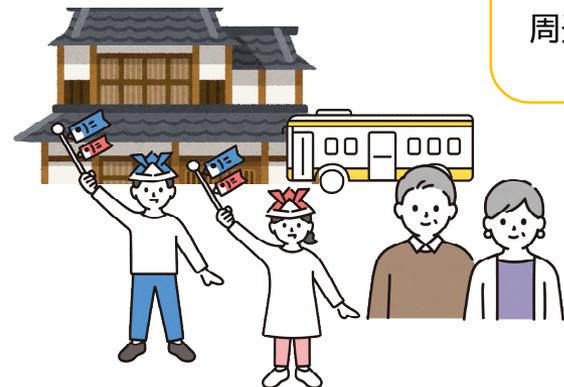
取組の実施

地域の大人や大学生と協力・
連携して取組みを実施

取組例

- ・久御山産食材での料理教室
- ・旧山田家住宅等を活用した昔遊び

旧山田家住宅、
玉田神社、
公会堂、
周辺公園等を
活用



地域で子どもを見守り・育てるために

拠点整備までの道のり

Step1

地域の資源（魅力）に気付く

Step2

地域の資源をつかう

拠点整備までの間に実施

Step3

地域のつながりをつくる

Step4

地域が良くなる

地域の資源をつかう

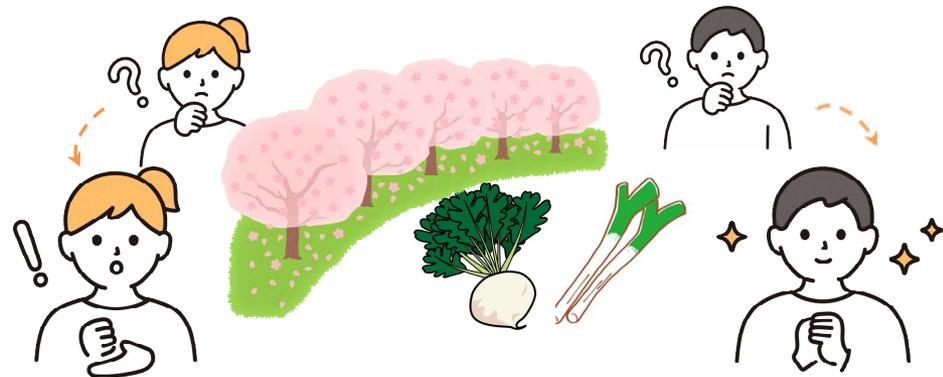
子どもが自ら考え、企画・実行することで**地域づくりに貢献**している意識を芽生えさせ、**まちへの愛着**を醸成

自ら考えて行動する力を育てる

子どもが自ら、関心のある地域資源をみつけ、地域資源の活用方法について企画・実施

まちへの愛着を育てる

地域づくりに貢献し、地域の一員として活動する意識を育てる



地域で子どもを見守り・育てるために

拠点整備までの道のり

Step1

地域の資源（魅力）に気付く

Step2

地域の資源をつかう

Step3

地域のつながりをつくる

拠点整備後
実施

Step4

地域が良くなる

地域のつながりをつくる

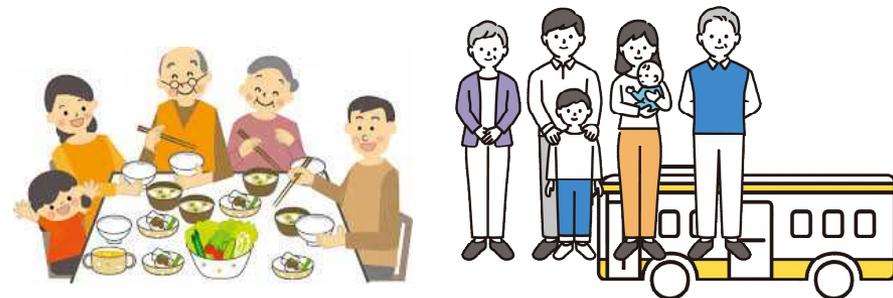
御牧校区の住民自身も楽しみながら、子どもの声をくみ取り、
子どものやりたいことを支援

子どもへの関心を高める

プレイバスや拠点での取組を通じ、子どもと関わり、
子どもの声をくみ取りながらも子どもも住民自身も
楽しめる企画を実施

子どもと大人の関係性をつくる

「みんな食堂」やみまきっこ寺子屋塾での「みんな講座」
の取組を通じ、住民、子どもの双方がお互いを知る



地域で子どもを見守り・育てるために

拠点整備までの道のり

Step1

地域の資源（魅力）に気付く

Step2

地域の資源をつかう

Step3

地域のつながりをつくる

Step4

地域が良くなる

目指す姿

地域が良くなる

子どもを通じ、**みんなが楽しくいきいきとしたまち**を目指す



子どもが御牧校区への
愛着を育てる

子どもと住民との**良好な
関係性**を継続させる

子育て世帯の
居住誘導を図る

